

令和5年度
全国高等学校定時
制通信制体育大会

全国優勝そして上位入賞!

ナトテイスポーツ

号外

優業ついに全国で優勝

この夏最大の感動!

走高跳大舞台で本領発揮

走幅跳全国2位その差10cm



100mハードル、400mリレー、砲丸投、円盤投で入賞!

大島優業ついに全国制覇

この日、優業は順調に記録を伸ばし、1m46を跳びこの時点で優勝が決まった。しかし挑戦はここで終わらず、次に昨年度の優勝記録よりも高い1m50に挑戦し、1回目、2回目を失敗し最後の3回目の跳躍で見事飛び越えた。表彰台の一番上に立った姿はこの夏一番の笑顔だった。100mハードルでも決勝に残り6位入賞。平野ゆな

昨年以上に練習に励み、手応えを感じながら本番を迎えた。1投目が記録を残すのに大切なため全集中して臨んだ。決勝は抜きつ抜かれつ最後の投擲でベストに近い19m47を投げて順位を上げ、6位入賞となった。砲丸投でも全国の強豪がいる中、6m75で8位入賞を遂げた。

小野穂乃香

走幅跳予選4m24で通過標準記録を超え全体トップで決勝進出。決勝では3回終了時点で4位だったが、菊田監督からアドバイスをもらい、4回目で記録を伸ばし4m28で2位となった。トップとはわずか10cm差であった。ベストを尽くした全国2位である。

小野は400mリレーの宮城代表第3走者でもある予選では全体3位で決勝進出。決勝では全体のバトンパスもスムーズに行え、57秒05と5位入賞となった。リレーでの入賞は宮城県として4年ぶりの入賞である。

矢地彪彦

円盤投22m15で全体16位円盤投ではいつも通りの力が発揮されれば決勝に進むことができたが円盤のなじみやコンディションで惜しくも決勝に進むことができなかった。来年に期待したい。砲丸投8m22

顧問より

高梨先生

全国大会に出るためには、何かを残す練習して、成果を出すための努力をする。だから、いい結果が出たときはさらに嬉しいのだとおもいます。よくがんばりました。

菊田先生

全国大会お疲れ様でした。満足のいく結果を出せた人もそうでない人も、今後に繋がるいい経験ができたと思います。ぜひこの経験を自分の財産にしてください。

校長先生より

全国大会に出場された選手のみならず、ご活躍おめでとうございます。各地区の代表選手と互角以上の戦いをしてきたことにとっても感動しています。選手の頑張りは本校同窓生の誇りです。

